続・ふるさとこぼれ話

皆既日食にわいた日本

第66回

文・写
大谷津忠一

皆既日食とは、地球から見て太陽と月が一直線に並び、月が太陽を完全に覆い隠す現象。太陽の直径は月の400倍あるが、地球からの距離差により、見かけ上の大きさは、ほぼ同じとなる。そのために月が太陽を覆い隠す現象が起こる。

46年ぶりの皆既日食に日本中がわきにわいた。

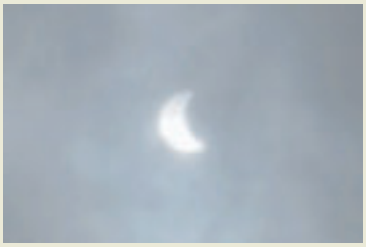
7月22日、鹿児島県・トカラ列島や奄美大島北部などで皆既日食が起きた。日本の陸地でこの壮大な天体ショーが見られるのは1963年7月21日の北海道以来、46年ぶりである。多くの天文ファンが訪れたトカラ列島の悪石島は雨、奄美大島北部のあやまる岬は曇りで、黒い太陽は見られなかった。

国立天文台によると、硫黄島付近の太平洋上の皆既継続時間は6分44秒で、今世紀に起こる皆既日食でも最長。人が住む場所ではトカラ列島の悪石島が最も長く、6分25秒だった。

テレビの特別番組で硫黄島付近の太平洋上の船から月が太陽を覆う模様の観測映像が克明に放送された。神秘の輪、皆既日食が始まる様子やコロナが広がり黒い太陽にダイヤモンドリングが浮かび上がった模様は見ていても鳥肌が立つほどの感動だった。思わずテレビにデジカメを向けて撮影してしまった。

芳賀町でも午前11時ごろに雨が上がり、雲の切れ間から太陽が姿を現し、三日月のように欠ける様子が肉眼でも見ることができた。部分日食ではあるが、見ていてとても感動した。

26年後の2035年9月2日には、県内でも感動的な皆既日食が見られる。



編集後記

□先月、世界陸上ベルリン大会が開催されましたね。熱戦でした。世界新記録がいくつも誕生したり新王者が現れたりと感動しましたね。

□町後援会主催の応援ツアーメンバーが現地で、町民約30人がロマンの湯の大型テレビで赤羽選手が出場する女子マラソンを観戦しました。

■私も自宅で観戦していましたが、力走する赤羽選手の姿につい拍手をしながら声援を送っていました。（K）

▲芳賀町ロマン花火（8/15）

しまたかしの 芳賀の自然 18

ルリシジミ　チョウ目シジミチョウ科

（写真提供＝芳賀町自然に親しむ会）撮影場所：町内

分　布＝北海道～トカラ列島
生息地＝平地から山地
時　期＝3月～11月（年5回発生）
食　性＝フジ・バラ・ミズキ科など（広範囲）
大きさ＝開張（羽を広げた最大値）25～30㎜
特　性＝雄は羽表が空色で美しい。裏側は雌雄ともに白く小さな黒斑が散らばる。本種は樹木の上部付近を上下に活発に飛ぶ。町の中や水田地帯ではこれに似たヤマトシジミが見られる。

■編集　芳賀町広報広聴委員会
☎028（677）6032　✉kouhou@town.haga.tochigi.jp
■発行　芳賀町企画課
栃木県芳賀郡芳賀町大字祖母井1020番地
■芳賀町ホームページアドレス
http://www.town.haga.tochigi.jp
芳賀町の携帯サイトはコチラから➡

PRINTED WITH SOY INK
この印刷物は、E3PAのゴールド基準に適合した地球環境にやさしい印刷方法で作成されています
E3PA：環境保護印刷推進協議会
http://www.e3pa.com